

11月13日(木)見学会

今回の見学では解体工事が終わり、スケルトンと言われる状態の部屋を見てきました。ふすまや物置は撤去され、壁はコンクリートがむき出しになり、床は畳がはがされ給水管などがむき出しになっていました。今回の私たちの提案の中で、玄関前は押入と物置があるために入ってすぐに壁があるという圧迫感を感じる作りだったので、それを撤去してしまうことにしていました。実際にそれが撤去されたことで、通路が広くなり、せまい廊下を曲がったりすることもなくなり、移動がしやすくなったと感じました。また南側の2つの個室も間のしきりや押入がなくなったことでとても広くなっていました。

今回はコンクリートがむきだしの殺風景な状態でしたが、ここから私たちの提案がどのように形になっていくのか、完成がとても楽しみになりました。

国際文理学部 環境科学科  
中野 古幸

